

## 令和5年度 第5回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和5年7月18日(火) 20:00開始

2. 場 所 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 理事18名中18名、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、石川 伸男、多氣 洋平、仁賀 建夫、中村 真理、永井 祐司、中村 真理、平尾 豊、奥田 竜子、柿田 亜矢子、奥田 好廣、安枝 和子、久保 克敏、高瀬 美保、箸本 明雄、桜木 由美子、埴岡 隆、小林 真由美、  
(監事) 花野 信子、清水 美音子

### 4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

### 5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名の内18名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

(2) 定款第38条に基づき三須和泰代表理事が議長に選出された。

(3) Zoom会議により出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

### 6. 審議事項

- ① 第一号議案 令和3年度の事業を対象としたスポーツ振興事業助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策の提出について

坂本事務局長から配布された資料に基づき、以下の説明がされた。

スポーツ振興センターから助成金実施事業において、適切な執行が認められないと指摘を受けた箇所3点について、改善方策の提出が必要。報告書案を作成したので、本会で内容を確認した上で提出する。

審議後、議長から承認を求めたところ、異議なく承認された。

## 7. 報告事項

### ①渡辺健一氏について

議長から、令和5年7月15日付で渡辺健一氏が一身上の都合により理事を辞任をしたことが報告された。

### ② 令和5年度定時総会を受けた協議会の開催報告

石川専務理事から、本年度の定時総会での正会員からの指摘事項への対応として、正会員有識者会議を設置し、令和4年度の決算を受けての反省点、今後の対応策をとりまとめ、正会員に報告を行うことになったと報告がなされた。

報告事項③に移る前に、奥田好廣理事から「理事会規程に基づき、理事以外のメンバーが必要に応じて出席される場合は、理事による承認が必要なのではないか」、また、「審議の議案の説明者はあくまで担当理事が行い、専門部・委員会の構成員については必要に応じて補足説明するということを徹底されたらどうか」との意見が出された。

これに対し審本理事からは、事前に配布された資料に説明者の記載があり、適切な説明者を出席させると示されていると考え、理事会開始時にも異議はなかったため問題はないと思うが、賛否を決めてから進めてはどうかとの提案がされた。

議長から、スポーツガバナンスコードに準じた対応と認識して進めているが、今回については各本部長が提題をした上で、説明担当者からの説明とする旨が提案され、進行を再開した。

### ③銀行借入の交渉進捗状況

仁賀業務執行理事から、現在武蔵野銀行と調整中であり、近日中に融資の提案ということになってる旨の説明がされ、詳細については坂本事務局から、審査をしていただいた上で、新規の融資が可能であることが内示され、準備が整っている段階であることが報告された。

#### ④資金繰り状況報告

萬納財務総括部長より、資料に基づき説明があった。

今後の各種活動の予算については財源に限りがあることから、強化事業についてはアジア競技大会およびアジアチャンピオンズトロフィー参加を行うことのみ決定している、との補足説明があった。

#### ⑤強化育成本部からの報告

永井常務理事から、人事、オリンピック予選、代表チームの遠征・合宿等について報告があった。

- ・男子ハイパフォーマンス部長を高橋義徳氏に正式に依頼
- ・オリンピック予選の開催国が正式に決定し、男子がスペインとパキスタン、女子がスペインと中国となった
- ・女子の欧州遠征はジュードHCの強い希望で行われたものであるが、手ごたえが感じられ、有意義なものとなった。
- ・遠征中の怪我はやむを得ないが、男女共に怪我をしない工夫をする
- ・男子の韓国遠征については、課題が残る結果となったため、引き続きチームでのミーティングを重ねる。
- ・本日アジア大会のメンバーが発表された。

平尾理事から、今回のアジア大会の代表選考については、透明性・公平性が担保されるべきと考え、JHAでの選考規程の変更が必要ではないかとの提案がされた。今回の代表選考については、JOCへの提出前に選考のプロセス・選考材料・選考理由を理事会での確認を行うべきではなかったかという意見が出された。

これに対し多氣常務理事から、代表承認委員会については、法務コンプライアンス部の箸本理事もしくは奥田竜子理事に参加をしていただくことで、選手に対し透明性・公平性が担保されるような規程の整備に努め、議事録を残すことを検討中であることが報告された。

永井常務理事からは、選手選考に関しては真摯に対応をしたいと考えているので、今後は皆さんにもご協力をいただき、透明性のあるガイドラインの再作成をしたいと考えていると意見を述べた。

議長から、今回についてはオリンピック選手団の選考ではないため、規理事会で事前に承認するべきであったかどうかは別として、女子の選考結果については、場合によっては理事会承認が必要となる場合もあると考えるため、急ぎガイドラインの改定をお願いしたいと提案があった。

#### ⑥ホッケー5について

議長から、ホッケー5については日本ホッケー協会としては参加をしないが、アジアホッケー連盟の取り計らいにより、日本の有志チームとして参加をする可能性があることが示された。これによりペナルティが課される可能性が低くなったことが説明された。

#### ⑦事業本部からの報告

中村理事、高瀬理事から、事前配布資料に基づき以下の説明があった。

##### (1)全国スポーツ少年団交流大会の準備状況

- ・参加人数の調整、コート数の増加、熱中症対策の徹底により参加チーム数が昨年度より増加した。

##### (2)U-12 Hockey Dream Camp の開催

- ・京都トレーニングセンターの利用をすることで、費用を軽減

##### (3) 同 ブロック選考会の開催

##### (4)2023 年度 夢見るホッケー教室スケジュール

##### (5)インドアホッケー国際試合について（案）進捗状況

- ・2024年1月に埼玉、東京での国際試合を予定。
- ・参加国は男女共に日本以外の1ヶ国を予定。
- ・期間中、大田区内の小学校のカリキュラムとして、試合の観戦・ホッケー教室への参加をしていただけるよう検討したい。
- ・インドア代表チームとして活動・合宿が出来ていないので、ぜひ実施出来るように努めたい。

##### (6)競技役員国際大会派遣実績・計画

##### (7)2023 年度プレーオフ実施要項

#### ⑧SOMPO JAPAN CUP 2023 予算案

坂本事務局長から、事前配布資料に基づき、予定収支・協賛金・地域との連携プロジェクト等について説明がされた。

議長から、チケットの販売の協力をお願いが提案された。複数の理事から競技人口として多い、大学生などに大会やチケットの案内が不十分であると感じる。昨今の学生はSNSからの情報収集が主であるため、この点を踏まえ実行委員会には宣伝・チケット販売を行うよう、提言をお願いしたいとの意見が出された。

#### ⑨100周年記念パーティに関する考え方

石川専務理事から、100周年記念パーティを2024年2月に開催予定であること、例年の感謝の集いに招待をしている方々に加え、地方協会、功労者の方の招待を検討していることが説明された。

⑨2023 WMH Asian Continental Cup Hong Kong 日本選手団名簿  
石川専務理事から、マスターズアジアカップの開催予定について説明がされた。

奥田好廣理事から、理事会の開催頻度について提案があり、検討することとなった。

以上をもって議事の審議・報告を終了し、議長は23時00分、閉会を宣言した。